



野菜の需給・価格動向レポート(平成24年4月16日版)

1 主要野菜の生産出荷状況

種類		3月の価格動向			4月の価格動向		生育及び価格の4月の見通し
		(参考) 保証基準額の 算定の基となる 平均価格	指定野菜の関東・近畿ブロック 旬別平均販売価額		(参考) 保証基準額の 算定の基となる 平均価格	指定野菜の関東・近畿ブロック 旬別平均販売価額	
			中旬	下旬			
葉 茎 菜	<div>キャベツ</div> 	88.05	106	103	84.37	130	・ 神奈川産は、冬場の低温等の影響により生育が通常より1週間から10日の遅れとなっているが、下旬から出荷が徐々に増加する見込み。愛知産は、出荷がピークを越え5月にかけて減少傾向。千葉産は、少なめの出荷となっている。 ・ 出荷が少なめと見込まれることから、価格は平年を引き続き上回って推移する見込み。
		83.73	100	98	86.69	114	
	<div>ねぎ (関東：白ねぎ 関西：青ねぎ)</div> 	229.99	353	270	264.1	234	・ 千葉産及び埼玉産は、順調な生育となり、平年並みの出荷となっている。 ・ 順調な出荷が見込まれることから、価格は平年並みに推移する見込み。
		450.51	416	359	334.73	307	
	<div>はくさい</div> 	61.12	121	120	67.05	129	・ 茨城産は、生育が通常より1週間程度遅れている。天候の回復とともに下旬から本格的な出荷となるものの、平年よりは少ない見込み。 ・ 下旬までは少なめの出荷が見込まれることから、価格は引き続き平年を上回って推移し、その後は徐々に落ち着いてくる見込み。
		68.7	128	112	77.96	120	
	<div>ほうれんそう</div> 	307.66	365	429	376.1	413	・ 茨城産は、順調な生育となっている。群馬産は、気温の上昇とともに順調な生育となり、平年並みの出荷となる見込み。 ・ 出荷が順調と見込まれることから、価格は平年並みに近づく見込み。
		341.25	370	430	396.89	446	
	<div>レタス</div> 	199.64	258	256	156.23	246	・ 茨城産は、冬場の低温の影響で生育が遅れていることから、小玉のものを早取りして出荷している。天候の回復により、下旬からは出荷量の増加が見込まれるが、平年よりは少なめの出荷の見込み。兵庫産は、生育が回復し、順調な出荷の見込み。 ・ 出荷が少なめと見込まれることから、価格は引き続き平年を上回って推移する見込み。
		203.61	276	267	165	256	
	<div>たまねぎ</div> 	76.15	103	104	76.15	110	・ 北海道産は、出荷の終盤を迎え、下旬に向けて徐々に減少傾向となるが、平年よりは少ない出荷となっている。佐賀産は、低温による生育の遅れと降雨による収穫遅れで、少なめの出荷となっており、今後も少なめの出荷の見込み。 ・ 佐賀産の出荷が少なめと見込まれることから、価格は引き続き平年を上回って推移する見込み。
		76.15	101	101	76.15	114	
果 菜	<div>きゅうり</div> 	253.93	514	330	253.93	248	・ 埼玉産は、冬場の低温と日照不足の影響により、S階級中心の出荷で、平年より少なめの出荷となっており、今後も少なめの見込み。群馬産は、天候の回復とともに生育が回復し、まとまった出荷量となり、平年並みの出荷となっている。 ・ 群馬産の出荷が順調と見込まれることから、価格は平年並みに推移する見込み。
		242.77	516	334	242.77	243	
	<div>トマト</div> 	339.78	572	544	339.78	506	・ 栃木産は、2月の日照不足の影響により、空洞果が散見されることに加え、MからS中心の小玉傾向の出荷となり、平年より少なめの出荷となっている。熊本産は、最近の天候の回復とともに出荷量も回復してきており、平年並みの出荷となっている。 ・ 栃木産の出荷が少なめと見込まれることから、価格は引き続き平年を上回って推移する見込み。
		321.78	528	509	321.78	472	
	<div>なす</div> 	347.77	422	424	347.77	382	・ 高知産は、天候の回復により、平年並みの出荷となっている。福岡産も、日照不足の影響で少なめの出荷となっているものの、天候の回復とともに下旬には増加する見込み。 ・ 高知産の出荷が順調と見込まれることから、価格は平年並みに近づく見込み。
		330.95	414	411	330.95	365	
	<div>ピーマン</div> 	551.24	869	692	308.36	522	・ 茨城産は、天候の回復とともに出荷量が徐々に増加してきておりおり、月末にかけてまとまった量の出荷となり、今後は平年並みの出荷の見込み。宮崎産は、平年並みの出荷となっている。 ・ 茨城産の出荷の増加が見込まれることから、価格は平年並みに近づく見込み。
		513.91	806	686	283.1	535	
根 菜	<div>だいこん</div> 	79.03	129	150	86.59	195	・ 千葉産は、低温の影響により生育が遅れ、少なめの出荷となっており、今後も平年より少なめの出荷の見込み。 ・ 少なめの出荷が見込まれることから、価格は引き続き平年を上回って推移する見込み。 (※トピック欄参照)
		80.47	119	141	94.24	156	
	<div>にんじん</div> 	100.82	151	141	156.99	168	・ 徳島産は、3月まで低温の影響により小ぶり中心の出荷となり、平年より少なめの出荷となっているが、今後は天候の回復とともに徐々に出荷量が増加する見込み。 ・ 順調な出荷が見込まれることから、価格は平年並みに近づく見込み。
		104.49	159	158	148.36	185	

種類		3月の価格動向			4月の価格動向		生育及び価格の4月の見通し	
		(参考) 保証基準額の 算定の基となる 平均価格	指定野菜の関東・近畿ブロック 旬別平均販売価額		(参考) 保証基準額の 算定の基となる 平均価格	指定野菜の関東・近畿ブロック 旬別平均販売価額		
			中旬	下旬				
いも		217.95	228	213	－	195	――	《入荷量が少ないため、見通しは省略》
		219.65	245	198	－	167	――	
		88.17	121	154	131.8	136	・入荷見込量：8,909t（105） ・主産地：北海道（53）、鹿児島（42）	
		88.17	117	136	131.8	135	・入荷見込量：4,700t（105） ・主産地：鹿児島（56）、北海道（38）、長崎（6）	

- 1）平均価格は、過去6年間の中央卸売市場の各指定野菜の卸売価格を物価指数で修正した価格の平均（消費税は除く。）。
- 2）旬別平均販売価額の赤字は平均価格を50%以上回るもの、背景ありは保証基準額を下回るもの（消費税は除く。）。
- 3）単位は円／kg、上段は関東、下段は近畿ブロック。
- 4）入荷見込量は、関東農政局及び近畿農政局「野菜の入荷量と価格の見通し」による。（）内は前年対比。
- 5）主産地は、東京都及び大阪市中央卸売市場への出荷の多い県名。（）内は入荷シェアであり、関東は本年の見込み、近畿は前年の実績。
- 6）コメントは、都道府県、出荷団体、都道府県野菜価格安定法人、卸売会社等からの聴取りをもとに機構が作成したもの。

2 野菜の需要動向

家計調査によると、2月の1人当たりの生鮮野菜の購入量は、4,499gで前年比105%、購入金額は、1,735円で同107%となり、購入量は前年をやや上回り、購入金額は前年をかなり上回った。
また、小売物価統計によると、3月のキャベツの小売価格は、242円で過去5か年平均比129%、レタスは、675円で同146%となり、キャベツ、レタスとも過去5か年平均を大幅に上回った。

生鮮野菜の購入量及び金額
(1人当たりの購入量、金額)

年	過去5か年平均		平成23年		平成24年			
	購入量 (g)	金額 (円)	購入量 (g)	金額 (円)	購入量 (g)	前年比	金額 (円)	前年比
1月	4,263	1,528	4,310	1,573	4,189	97	1,634	104
2月	4,403	1,552	4,267	1,629	4,499	105	1,735	107
3月	4,815	1,721	4,867	1,788		0		0
4月	4,779	1,812	4,796	1,789		0		0
5月	5,109	1,894	5,171	1,820		0		0
6月	5,043	1,872	4,904	1,857		0		0
7月	4,441	1,696	4,362	1,759		0		0
8月	4,348	1,719	4,392	1,717		0		0
9月	4,831	1,804	4,598	1,803		0		0
10月	5,262	1,862	5,037	1,884		0		0
11月	5,016	1,636	5,091	1,613		0		0
12月	5,145	1,834	4,998	1,792		0		0

資料:総務省「家計調査報告(二人以上世帯農林漁家世帯を除く)」

主要野菜の月別小売価格(東京都区部)の推移
(単位:円/kg)

	キャベツ			レタス		
	過去5か年平均	平成24年	5か年比 (%)	過去5か年平均	平成24年	5か年比 (%)
1月	166	230	138	547	690	126
2月	177	247	140	508	691	136
3月	188	242	129	461	675	146
4月	238		0	462		0
5月	172		0	380		0
6月	144		0	350		0
7月	160		0	324		0
8月	156		0	463		0
9月	155		0	562		0
10月	161		0	505		0
11月	162		0	371		0
12月	153		0	453		0

1) 過去5か年は平成19〜23年の平均。
2) 平成24年3月の値は、3月中旬の速報値。

資料:総務省「小売物価統計調査報告」

3 野菜の輸入動向

3月の輸入を植物防疫統計で見ると、たまねぎは前年比85%（中国は102%、米国は45%）の3万6千トン、にんじんは同93%（中国は97%、台湾は68%）の1万2千トン、ねぎは同88%（中国は88%）の5千トンとなり、たまねぎ、にんじん、ねぎともに、前年をかなり下回った。

野菜の輸入数量の推移
(単位：トン、%)

区分	平成22年		平成23年		平成24年1～2月		平成24年2月	
		前年比		前年比		前年同期比		前年同月比
生鮮野菜	820,687	133	915,091	112	178,966	107	98,928	108
加工野菜	1,677,840	107	1,803,510	107	286,789	102	122,613	99
野菜合計	2,498,527	114	2,718,600	109	465,755	104	221,540	103
うち中国産野菜合計	1,284,449	117	1,409,984	110	232,064	105	96,664	98
中国産シェア	51		52		50		44	

資料：ペジ探（原資料）財務省「貿易統計」

主な野菜の輸入動向
(単位：トン、%)

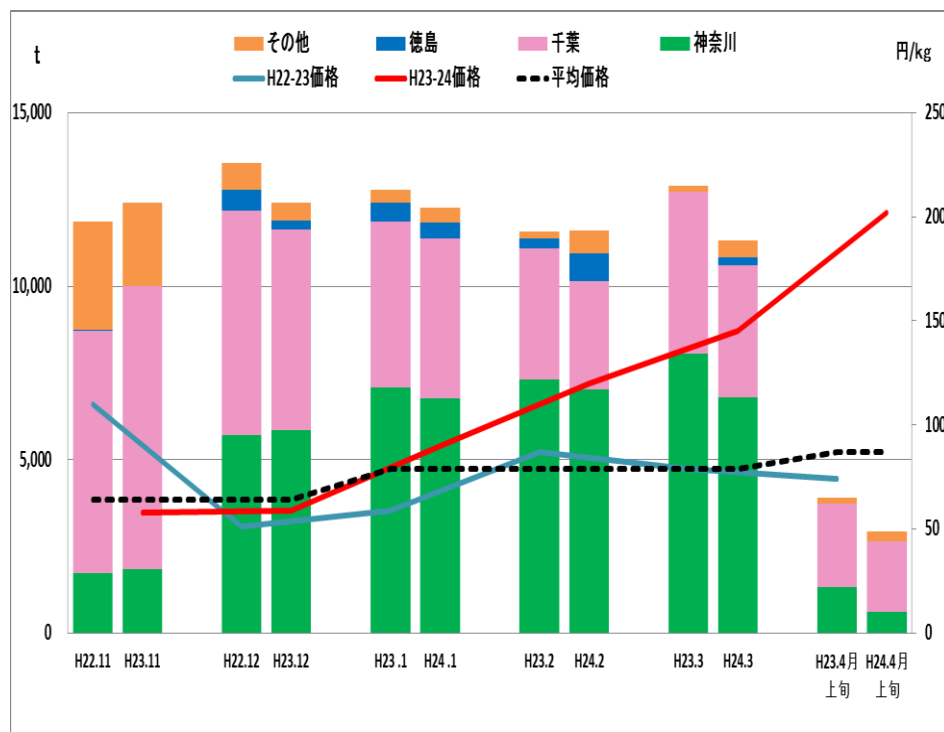
品目	輸入先	平成23年3月(A)	平成24年3月(B)	(B)/(A)
たまねぎ	合計	42,014	35,731	85
	中国	21,625	22,013	102
	米国	11,188	5,030	45
にんじん	合計	13,239	12,250	93
	中国	9,123	8,894	97
	台湾	2,547	1,744	68
ねぎ	合計	5,788	5,118	88
	中国	5,786	5,116	88

資料：農林水産省「植物防疫統計」。平成24年3月は、速報値である。

4 トピック ―だいこんの供給状況について―

だいこんは、11月までは前年より多めの入荷量で、価格も平年を下回っていたが、12月より少なめの入荷量となり、1月より価格が上昇に転じ、高値が続いている。
これは、
① 西の産地である徳島産の入荷が前年より増加しているものの、低温と1月までの少雨により小ぶり傾向となり、また、主産地の神奈川県産が平年より早めの切り上がりとなったことに加え、千葉産も2月と3月の入荷が少なかったこと
② 加工・業務用のだいこんは、通常契約取引で原料調達するが、収量減から十分な手当てができず、市場から調達していること等が影響している。
このような状況の中で、加工・業務用の実需者が輸入で手当てしたことから、2月と3月の輸入量が前年に比べ大幅に増加している。
今後気温の上昇とともに生育の回復が見込まれるが、主産地である千葉産は、平年より少なめの入荷量が見込まれることから、東北の産地に切り替わるまで、少なめの入荷となると見込まれる。

だいこんの入荷量と卸売価格の月別推移
(平成23年11月～平成24年4月上旬、東京都中央卸売市場)

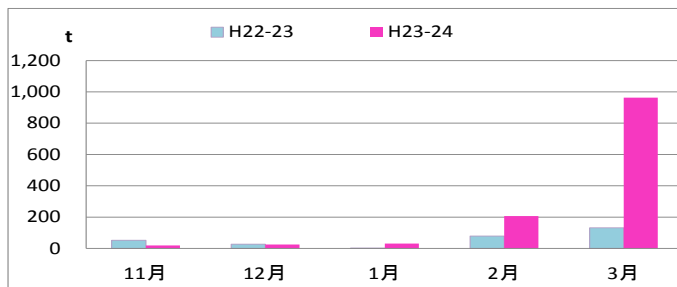


このグラフは、平成23年11月から平成24年4月上旬までのだいこんの入荷量と卸売価格の推移を示しています。左軸は入荷量（t）を0から15,000まで、右軸は価格（円/kg）を0から250まで表しています。棒グラフの緑色部分は神奈川県産、ピンク色部分は千葉県産、オレンジ色部分は徳島県産、その他の産地は青色で示されています。線グラフは、H22-23の価格（青線）、H23-24の価格（赤線）、および平均価格（黒点線）を示しています。入荷量は、11月と12月にピークを記録した後、1月から3月にかけて減少傾向にあり、4月上旬には再び増加が見られます。価格は、11月から12月にかけて上昇し、1月から3月にかけては比較的安定していたものの、4月上旬には大幅な上昇が見られます。

月	神奈川県 (t)	千葉県 (t)	徳島県 (t)	その他 (t)	H22-23 価格 (円/kg)	H23-24 価格 (円/kg)	平均価格 (円/kg)
H22.11	2,500	6,500	1,000	1,000	75	65	70
H22.12	2,500	7,500	1,000	1,000	75	65	70
H23.1	2,500	6,500	1,000	1,000	75	65	70
H23.2	2,500	6,500	1,000	1,000	75	65	70
H23.3	2,500	6,500	1,000	1,000	75	65	70
H23.4	2,500	6,500	1,000	1,000	75	65	70
H24.1	2,500	6,500	1,000	1,000	75	65	70
H24.2	2,500	6,500	1,000	1,000	75	65	70
H24.3	2,500	6,500	1,000	1,000	75	65	70
H24.4	2,500	6,500	1,000	1,000	75	65	70

資料：東京青果物情報センター

11月～3月のだいこんの輸入数量の推移
(平成22年度と平成23年度の比較)

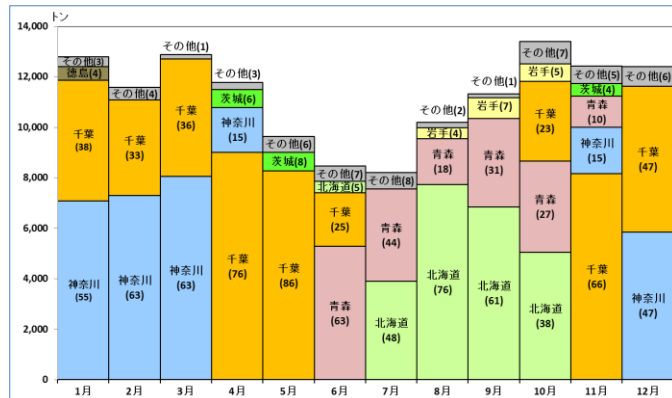


このグラフは、平成22年度（H22-23）と平成23年度（H23-24）の11月から3月までのだいこんの輸入数量の推移を示しています。縦軸は輸入数量（t）を0から1,200まで表しています。H22-23は青い棒、H23-24はピンクの棒で示されています。H23-24の輸入数量は、H22-23に比べて11月から3月にかけて大幅に増加しています。

月	H22-23 (t)	H23-24 (t)
11月	50	50
12月	50	50
1月	50	50
2月	50	200
3月	150	950

資料：農林水産省「植物防疫統計」

平成23年のだいこんの月別入荷実績
(東京都中央卸売市場計)



この棒グラフは、平成23年1月から12月までのだいこんの月別入荷実績を示しています。縦軸は入荷量（トン）を0から14,000まで表しています。各月の入荷量は、産地別に色分けされています。1月は神奈川県産（55トン）と千葉県産（38トン）が主で、2月は神奈川県産（63トン）と千葉県産（33トン）が主です。3月は神奈川県産（63トン）と千葉県産（36トン）が主で、4月は千葉県産（76トン）と神奈川県産（15トン）が主です。5月は千葉県産（86トン）と神奈川県産（6トン）が主で、6月は千葉県産（25トン）と神奈川県産（63トン）が主です。7月は千葉県産（44トン）と神奈川県産（48トン）が主で、8月は千葉県産（76トン）と神奈川県産（48トン）が主です。9月は千葉県産（61トン）と神奈川県産（38トン）が主で、10月は千葉県産（23トン）と神奈川県産（10トン）が主です。11月は千葉県産（15トン）と神奈川県産（15トン）が主で、12月は千葉県産（47トン）と神奈川県産（47トン）が主です。

月	神奈川県 (t)	千葉県 (t)	徳島県 (t)	その他 (t)
1月	55	38	4	4
2月	63	33	4	4
3月	63	36	3	1
4月	15	76	6	3
5月	6	86	6	6
6月	63	25	5	7
7月	48	44	8	7
8月	76	48	7	7
9月	61	38	7	7
10月	38	23	7	7
11月	15	15	7	7
12月	47	47	7	7

資料：平成23年東京都中央卸売市場年報

- 問い合わせ先 独立行政法人農畜産業振興機構 野菜需給部 需給業務課 村野、三部、須藤、山田 TEL03-3583-9483、FAX03-3583-9484
- ◆「野菜の需給・価格動向レポート」は月2回公表しています。公表日にメールにてお知らせしますので、ご希望の方はペジ探のお問い合わせから <https://www.alic.go.jp/form/vegetan.html>
- ★野菜ソムリエの旬ナビゲーション「ペジシャス」 <http://www.alic.go.jp/y-suishin/vaiukyu01.000076.html>